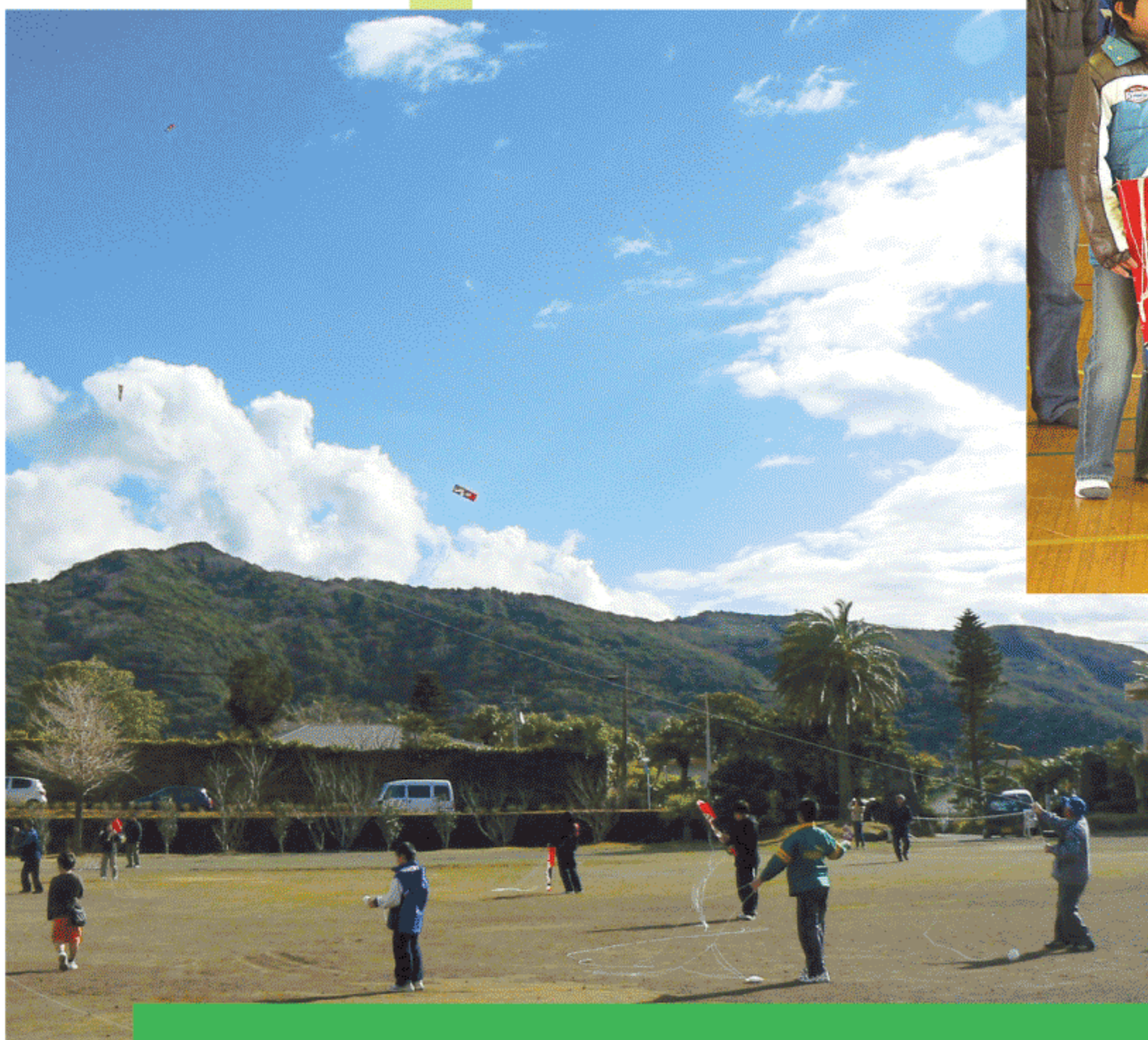


議会 だより

No.
149

町議会12月定例会

- 2 12月定例会
- 4 主な議決事項
- 5 一般質問
- 9 行政視察レポート
- 10 本会議の質疑から
- 11 議会日誌



「空高くあがれ」
1月10日、中之郷運動場で凧揚げ大会が
開催されました。
島の伝統、為朝凧は、参加者それぞれが
自分で作ったものです。

平成20年

12月定例議会

第四回八丈町議会定例会が、12月10日・11日、開催されました。今回の一般質問では、5名の議員が登壇し、町政について問いました。

また、平成19年度一般会計、用品会計、老人保健医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険特別会計の決算認定を行ったほか、条例の設置、改正などが可決しました。

また、「末吉・水海山の最終処分場建設計画の凍結などを求める要請書」について、審議しました。



12月の議会の様子

管理型最終処分場建設をめぐる



大島一般廃棄物管理型最終処分場

した。

大島では、すでに平成18年5月から供用開始され、現在東京島しょ8町村の焼却灰を受け入れている状況です。ちなみに、八丈島で排出されるゴミの量は、昨年度実績で約411に上り、残念ながら八丈町よりも人口が多い大島町よりやや多くなっています。

一組は、財政面、埋め立て量、環境、景観、立地条件などを考慮しつつ、21ヶ所から次々と候補地を絞りこみ、議会の了承も得て現在の候補地を決めました。昨年、候補地の生活環境影響調査が終わり、住民説明会が開かれました。

処分場施設の整備は、伊豆諸島共同ですすめることが効率的であるという観点から、広域事業で行なわれることが決まったのは今から10年ほど前のことです。

事業主体は東京都島嶼町村一部事務組合（以下一組）で、北域・中域・南域の3ヶ所につくられることになりました。しかし、三宅島の噴火という不測の事態を受けて、当面北域の大島と南域の八丈島に整備されることが決まりました。

建設について賛成や反対、さまざまな意見や要望が出されましたが、昨年11月25日の一組臨時会において予定どおり建設することに決まりました。

「水海山の緑と水を守る会」から、およそ4000名の署名が添えられた「末吉・水海山の最終処分場建設計画凍結などを求める要請書」(内容は下記に掲載)が町議会へ提出されました。

町議会は、このたび寄せられた建設賛成・反対それぞれの声を聞く中で、住民の方々の関心の高さを強く感じております。

しかし、これまでの8年に及ぶ議論の中で、候補地が限定していき、残った場所が水海山であることとを理解していただきたいと思います。

水の安全性については、八丈町の焼却灰の溶出試験によると、安全基準値の10分の1から1000分の1を示し、水質への影響はほとんどないと考えています。

さらに、要請書の文中にある、代替案としてのエコセメ

「水海山最終処分場建設計画凍結などを求める要請書」を不採択に

ントについては、それによって処分場自体がいらなくなるということではなく、処分場の延命が図れるというものです。エコセメントは、

運搬コストがかかること、会社との契約における制約があるなど、今実現するには課題が多く残されています。

しかし、将来、焼却灰を資源としてあるいは有用物として受け入れる場や技術が整ったときは、処分場を閉鎖することも考えていくべきでしょう。

われわれ議会では、要請書に対し、住民とともにゴミの減量化、リサイクルに取り組んでいくことには賛同できるものの、現時点では処分場は必要であるという見解に達し、不採択といたしました。

コンポスト、使ってみませんか？

町では、ゴミ減量化のために1世帯に1つ、コンポスト(家庭用生ゴミ堆肥化容器)の無償貸与を行なっています。ゴミの減量と花壇や畑の肥料の節約にも、ぜひご利用を！



※希望される方は、印鑑を持参の上、町役場住民課環境係で申請できます。

エコセメントとは
清掃工場から出る焼却灰などを主な原料として作られるセメントです。強度も耐久性もふつうのセメントほとんど同じ性質を持ち、土木や建設工事の材料として広い用途に使われます。埋め立て処分されている焼却灰や汚泥をなんとか再利用できないかと、官民共同で実用化の研究がすすめられてきました。

末吉・水海山の最終処分場建設計画の凍結などを求める要請書

(主旨)

東京都島嶼町村一部事務組合(以下一組)が末吉・水海山を候補地として事業を進めている八丈島管理型最終処分場の建設計画を凍結し、八丈島におけるゴミ減量化、さらに自然環境や町財政にも負担が少ない新たなゴミ処理システムの構築を行政、住民が一体となって進めていくことを求めます。

(理由)

水海山処分場の建設について、一組は生活環境影響調査の結果を発表し、9月22日、23日には説明会が行われました。候補地の水海山は、三原山の標高400mという高い位置にあり、研究者からは地盤が軟弱で崩れやすく、洪水の危険性があるとの指摘がされています。不慮の事故や自然災害で処分場内の浸出水が漏れ出せば、周辺の環境に影響が出るのではとの不安が拭えません。説明会では多くの住民がこうした不安を伝えましたが、一組は「法令に沿って事業を進めており問題はない」など建設を前提に「安全性」を強調する回答に終始し、私たちは安全性を確信するに至りませんでした。この状況のまま水海山に処分場を建設することは容認できません。

全国の自治体がそれぞれの地域に見合ったゴミ処理システムを模索しています。近年、革新的に進歩を遂げているゴミ処理技術を背景に東京都多摩地域では、焼却灰をエコセメント化しており、国レベルでもリサイクルの徹底などによるゴミ減量化施策へ力を入れていきます。「焼却して埋め立てる」という従来のゴミ処理から脱却し、処分場を造らないという施策も広がりを見せています。こうした流れから八丈町においても、水海山処分場建設をいったん凍結し、住民一人一人がゴミ問題を自らの責任として考え、行政と一体となってよりよい施策を見出し出していけるよう、十分な時間をかけて検討することが重要です。

事業主体である一組、また町民の代表である浅沼道徳町長と八丈町議会に対して、左記事項の実現について強く要望します。

1. 末吉・水海山での管理型最終処分場建設計画の凍結
2. 循環型社会に向けたゴミ減量とリサイクル推進、環境や自治体財政に負担が少ないゴミ処理システムの構築を、行政、住民が一体となって考えていくための環境整備の推進。

水海山の緑と水を守る会

平成19年度 5会計の決算を認定

◆決算審査——決算認定に至るまで

年度が終わると、会計ごとに決算書とそれに関する資料を作成します。監査委員は、それらをもとに、町のお金が

いくら入って、どのように使われているのか、また借入れや返済をどのようにしているかなどを審査します。

審査後、監査委員は会計ごとに意見書をつけて議会に報告し、認定に付します。

平成19年度 会計別収支決算額

(単位：円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	7,343,495,258	7,087,838,879	255,656,379
用品会計	2,600,839	2,600,839	0
老人保健医療特別会計	781,928,786	759,281,867	22,646,919
介護保険特別会計	739,766,932	712,719,579	27,047,353
国民健康保険特別会計	1,253,927,476	1,464,896,398	▲210,968,922
合計	10,121,719,291	10,027,337,562	94,381,729

議会で認定された各会計の決算は上表のとおりです。

平成19年度で実施した大きな事業は、火葬場の建設、永郷富士山線や神沢農道などの道路整備、東里地区災害防止事業、みはらしの湯代替井掘削、ストロングハウス建設の補助、三原小学校の環境整備などがありました。

表中の、一般会計、老人保健医療特別会計及び介護保険特別会計の差引額は20年度に繰り越されました。

国民健康保険特別会計の▲2億1096万8922円については、20年度の同会計の予算から繰り上げて補填しています。

主な議決事項

12月定例議会 主な議決事項

平成20年度定期監査報告

専決処分事項の報告及び承認について

(新火葬場の駐車場用地の買入)

平成20年度公営住宅整備事業 新道団地建築工

事請負契約 ほか工事請負契約1件

平成20年度八丈町一般会計補正予算 ほか補

正予算6件

八丈町行政手続条例の一部を改正する条例

ほか条例改正8件

八丈町体育施設条例 ほか条例設置1件

平成19年度八丈町一般会計決算認定 ほか4

件

「末吉・水海山の最終処分場建設計画の凍結などを求める要請書」について

2月臨時議会 主な議決事項

八丈町副町長の選任の同意について ほか人事案件1件

副町長には、山下奉也氏が選任されました。

燃料油となるジャトロファの植栽でエコアイランドのモデル地に

答 農家の協力を得られなければ町として取り組むことは難しい



山下松邦 議員

◆所要時間 10分

で、実からの燃料生産、搾りカスの堆肥化や固形燃料化、観賞用としての苗木販売、また地球温暖化防止の学習に貢献できることから、国などの支援を受けながら、5年間で30万本の植栽を行い、八丈島をジャトロファ栽培のモデル

地としてはどうか。

答 和田一宏企画財政課主幹

町が、ジャトロファの生産に取組むには農家の協力が必須と考えるが、アシタバやロベの代替作物としては、収益性が低く農家の理解が得がた

いと考える。

町の環境への取組みとしては、化石燃料に代わりとなる地熱エネルギーを有しており、今後それを有効かつ最大

限に活用することが重要。ジャトロファの栽培は、町が直接取り組むという形ではなく、団体等の取組みにできる範囲で協力していきたい。

ジャトロファってこんな植物です

世界各地に自生している植物で、種子に毒性が強いが、極めて油分に富み、燃料のほか、石鹼やロウソク、下剤や解熱剤などの原料にもなり、日本では鉢植えも流通しています。

干ばつや風に強く荒地でも栽培の手間がかからず、実は食用にならないため、バイオディーゼルの燃料であるトウモロコシやサトウキビなどの食品価格の高騰を避けられる代替燃料として期待されています。

現在、アジアやアフリカの国々の中で、国策として植栽し燃料化をすすめているところもあります。



質問 本年11月、世界初となるジャトロファ油100%で漁船の試験走行を八丈島で行なった。ジャトロファは、諸外国でも燃料生産のため植栽されているが、国内でも関心が高まっている。

そのような中、八丈島で試験的に栽培しているジャトロファを視察するために農水省ほか何件かの団体が来島している。種子から育て、実の収穫に至るまで、通常3年かかるが、島の気候が適しているのか、今回、1年2ヶ月で収穫できた。

挿し木で増やすことが容易

管理型最終処分場をめぐる町の対応と今後の施策について

答 ゴミ問題に関心が高いこの機会を活かし住民の理解に努める



奥山幸子 議員

◆所要時間 27分

質問 先月、一組議会で八丈島における管理型最終処分場の建設計画が採択された。

これに先立ち、建設凍結を求め要請書が一組、町、議会に提出された。また議会は、建設推進の要望書を一組に提出している。このように行政や議会と住民の意向が食い違

っている状況は、望ましいことではなく、その原因は、町が住民に対し十分な説明をしてこなかったことだと考える。

そこで、候補地の選定と絞り込まれた過程、町のゴミの量とゴミ処理の実態、処分場の必要性について、新聞折り込みなども利用しながら住民

に説明していく考えはあるか。また建設費7億円増額について、詳しい情報開示を求める。

次に、共用開始までの期間をゴミ減量推進期間と位置づけ、住民の提案事項を検証していくなど、具体的な施策に取り組みべきであると考えている。町の考えを問う。

答 山越 整 住民課長

廃棄物行政には住民の理解と協力が必要で、関心が高まっているこのタイミングをいい機会と捉えている。民間事業者による新聞・雑誌・ダン

ボール・古着の回収事業と、町の施策として廃食用油の燃料化事業の住民説明会を開く際などに、管理型最終処分場の説明もしていきたい。新聞折り込みは、時期を見て考えていきたい。建設費の増額については、さらなる安心・安全な建設のための増額と考えるが、積算の詳細な内訳は後日報告したい。

新庁舎に併設予定の集会施設は、住民の意向を重視したものを

答 予算、機能の面で全ての要望を受け入れることは難しい

質問 ホール建設は長年の住民の願いであるが、文化団体だけでなく、学校行事や

様々な講演会などに利用することを考えた場合、固定式の椅子、舞台、音響設備が整備された本格的ホールを目指すべきだと思うが町の考えを問う。

また、使い勝手のいい施設をつくるには、利用者の意見を重視する必要があると思うが、利用者との合意はどのように進めていくか。

答 和田一宏 企画財政課主幹
プロポーザル方式による設計業者の選定を行い、絞り込んだ。集会施設の設備に関しては、まだ白紙の状態であるが、町としては多くの用途を考えて、災害時の避難場所、救済物資等の仕分け作業の場所にも利用したいと考えている。利用者の意見や提案については、予算面や機能面です

べて受け入れることは難しいとは思いますが、文化団体と連絡を取り合うほか、住民説明会も開き、住民の要望を聞きながら進めていきたい。

人口を増やすための努力を

答 生産年齢世代を受け入れるための窓口設置などを検討したい

質問 人口減が進むと町全体の経済活動が減少することになるため、一人でも多く住民を増やさなければならぬと思う。いろいろな町村で実施している団塊世代誘致策、島内の独身者向けお見合い事業や、坂下地域へ一戸建て住宅の建設など、町は人口を増やすための方策を考えているか。

に的を絞ることも一つの策と思うが、生産年齢である20

歳代が極端に少ないことに課題がある。地域に密着した受け入れ窓口の設置など、他の町村の成功例を勉強し取り組みたい。

観光客をみんなと呼ぼう

答 ハガキによる観光客誘致も実施したい

質問 本年度の観光事業には、約8000万円の予算が計上されているが、各事業は、どのようにPRし実施されているか。

以前行なった、航空機利用者のプラス1万人運動のように、島民がハガキなどでイベントを紹介、誘致策を実施する考えはあるか。

また、昨年フラダンスのイベントを実施後の効果は。



菊池 孜行 議員

◆所要時間 31分

答 山下奉也 企画財政課長

人口減少の歯止め策は重要な行政課題である。団塊世代



答 小川 一 建設課主幹
坂上地域の一戸建て住宅の建設事業は、過疎対策として17年度から5カ年計画で行っているもの。坂下地域では民間住宅等が多数あることを鑑み、今後とも坂上地域の人口減少の一助として、一戸建て住宅は、坂上地域に建築を考えている。

答 佐々木昭 産業観光課長

町では、都内で行なう物産

展でツアーの募集、エージェント訪問のほか、国立博物館で光るキノコ展示でPRを実施する。ハガキでの観光客誘致も現在検討している。

4月にフリージアのレイ（首飾り）作り教室を実施、その後も、島外のフラダンスチームが合宿と合わせレイ作り教室を実施して計3回、250名が来島した。それ以降レイの材料となる島の植物の注文

も農協を介して入るようになったことや、今後、フラダンスの雑誌で八丈島の特集が組まれること、八丈島産レイの材料となる植物の紹介も予定され、宣伝効果も期待される。

明では、NED^{ネド}Oの調査報告書を引用して水海山の地下水位を107以下と推定しているが、三原山全体が均質であることを暗黙の前提としての議論であり不合理ではないか。

答 浅沼道德町長

8町村共同事業であり、その会議の中でも更なる調査や有識者の意見を求めることなども議論してきた。

多くの住民の方の関心を重く受け、安全な処分場にしたと考えているので、住民の皆様にも理解と協力をお願いしたい。

野焼きについて統一見解と対策を講じるべき

答 原則禁止、例外規定に該当する場合も周辺に配慮を



◆所要時間 42分

菊池 睦男 議員

入れ条例」等をどのように解釈して運用しているか。

野焼きについての考え方の相違から、住民間でもトラブルがあるが、関係する所管（消防本部、住民課、産業観光課）で協議の上、統一見解を明らかにし、対策を講じるべきではないか。

行為者の配慮不足によるものが大半で、迷惑行為となる場合は、担当部署が現場で注意をしている。今後も廃棄物の野外焼却禁止を啓蒙していく。

質 問 野焼きについて

は、過日の農業委員会、消防委員会、町議会でも議論になった。住民の利便性を確保することが大事と考える。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、東京都の「環境確保条例」、八丈町の「火

答 山越 整 住民課長

関係所管部署を代表し答弁するが、原則は禁止。広報や防災無線、時には自治会総会で注意喚起を行なっているが、法律等の例外規定に該当する場合も、周辺の生活環境への配慮は必要。トラブルは、

一組の説明で、NED^{ネド}Oの調査報告書を引用するのは不合理と思うがどうか

答 地下水位を大局的に予測する上で活用することは問題ないと考え

質 問 一部事務組合の説

答 山越 整 住民課長

平成元年からかけて行なったNED^{ネド}Oの調査は貴重なデータであり、地下水位を大局的に予測する上で活用することは問題ないと考える。

NED^{ネド}O：独立行政法人
新エネルギー・産業技術
総合開発機構

4105筆の署名を添付した要請書を受けて町長はどう思うか

答 住民の関心の高さを重く受け止めるが、施策への理解を求めたい

質 問 「水海山の緑と水を守る会」は、4105筆の署名を添付した要請書を

一組、町長、議長宛てに提出しているが、これについて町長はどう思うか。

答 山越 整 住民課長

広報「はちじょう」11月号の町長緊急メッセージ及び要請書に対する町の見解のとおり、処分場のないリスクを避けるためにも、廃棄物処理の施策への理解と協力を求め、安心・安全な管理型最終処分場の整備を進めたい。

町の高齢者の実態把握と今後の対策は

答 実態調査や介護予防教室、健康診断などを通して高齢者とのつながりを持っていききたい



菊池綾子議員

◆所要時間 23分

して、この結果一人暮らし世帯に、歩行、排泄、食事、入浴、着脱衣のいずれかに全介助を要する方が14人、高齢者夫婦の世帯でも同様の方が29名いるが、すでに特養ホームへ入所または、近隣で子どもが介護しているなどの情報が明らかになっている。

一人暮らしの高齢者のための施策としては、急に体調が悪くなったときの備えとして緊急通報システムを希望した73世帯に設置しており、また要支援、要介護の方にはケアマネージャーが定期的に訪問している。

また、特定健診、健康診断などの結果や保健師、栄養士による高齢者健康教室、介護予防教室などを通して参加者の健康状態の把握に努めている。

今後も、このような活動の中で高齢者とのつながりを持ちつつ、支援の必要な方へは介護保険制度の利用を組み合

答 浅沼房徳健康課長

毎年、民生委員の方の協力を得て高齢者実態調査を実施

質問

平成20年11月1日現在、八丈町の65歳以上の高齢者は2675人となり、4月から181人増加している。高齢者が元気で過ごせる環境を整えることが、町の課題。民生委員、自治振興委員の方と連携した見守りや相談は可能かと思うが、一人暮らしの高齢者に対し、町はどれだけ把握し、今後どのように関わっていくか。



緊急通報システム
既存の電話回線を利用して設置できます。

わせ、少しでも自立した生活ができるよう支援していきたい。

高齢者の足となる小型コミュニティバスの導入や、町としての将来の展望は

答 バスのシルバーパスの普及を第一に進める

質問 運転ができなくなった高齢者の足として、バス

の必要性を感じている。各地で利用者の減少による経営悪化、縮小、廃止がある中、バスは地域で欠かせないものとして存続や再生を目指す取り組みが見られる。小型のコミュニティバスの導入など町として将来の展望はどうなっているか。

答 浅沼房徳健康課長

現在、社会福祉協議会で、車イスの利用者向けに、通院、老人ホームへの通所、上京の際の空港への移送サービスを実施している。これは、八丈町が設置している福祉有償運送営業協議会という会議の中で、条件を定め、陸運局の許可を取って営業している。

現状では、人員、車両の確保、財源不足などの理由からサービスをこれ以上拡げることは厳しくもあり、民間タクシー業者への圧迫も懸念される。

町としては、バスのシルバーパスの普及を第一に進めるべき課題と考えている。

答 奥山 拓 企業課長

町のバス事業の経営が厳しいことから、本年、経営改善計画を立て、老人ホームと商

店、空港を結ぶ路線のコミュニティバスの2便増便や利用のほとんどない路線の廃止、所有するバスの減車などで、現在、経費削減に努めている。小型のコミュニティバスの導入は今のところないが、高齢者を含む島民の生活の足として最低限、バスは必要不可欠と考えている。

こんな質問もしました

質問 野焼きが禁止されているが、町としての独自施策は考えられないか。

答 伐採木については、炭や薪、チップの原材料として活用拡大、民間事業者の木材チップ堆肥化事業計画への協力を予定している。

行政視察レポート

期間
平成20年
10月14～16日

視察者
奥山 幸子
長戸路義郎
菊池 睦男
小澤 一美



長野県下條村 子供が増える村に变身、 公共事業も自前：

出生率が下がり続ける日本で、逆に上がった村がある。そのために、住宅、保育所、図書館、医療費等の子育て環境の整備に力点を置いた。また、住民が自ら施工する道路整備事業に対して資材を支給することにより、業者発注に比べて5分の1の費用で行い、土木費を節約している。さらに、10年前に約60人いた役場の職員を34人に削減した。「村づくりは人づくり」という理念の下に節約財政で浮かせた予算を、若者定着策に振り向け、人口、世帯数を増やし、全国の過疎化に悩む自治体を羨ましがらせている。

視察相次ぐ「独自路線」

下條村は人口4176人の山村で、今この村に、全国の自治体関係者が大挙して視察に訪れている。最大の理由は、昨今の人口減や少子高齢化に逆行するような、「子どもがたくさん生まれる村」だからだ。

村の試算によると、一人の女性が一生に産む子どもの人数の数値は、平成18年全国平均が1.32人に対して

2.04人（八丈島は2.16人）である。0～14歳の若年比率は全国平均13.62%に対して、下條村は17%（八丈島は11.9%）である。

65歳以上の高齢人口は全国平均21.57%に対して下條村は29%（八丈島は31.7%）である。生涯出生率は県内トップであり、若年比率はダントツに高い。それに比べて八丈島は子どもが少なく、高齢人口が多いことがわかる。出生率に限って言えば、下條村を上回る高水準である。

八丈島の課題

以前のように国に頼れなくなった今、地方が自立するためのカギは何か。「本当にお金がなくなると、必死の改革ができる」と言われる。全国一お金持ちの東京都におんぶに抱っこ、スネカジリをしている限り、八丈島の自立は考えられない。私たちは甘えの構造にとっぷり浸り、危機感が足りないのではないだろうか。

報告者 菊池睦男



粗飼料の自給に取り組む酪農家

まずみが丘フォルト組合（伊那市）

今酪農は、輸入飼料の高騰の影響を受け、全国的に厳しい経営を強いられています。そんな中、飼料の自給に取り組む酪農家も増えていきます。

南アルプスと中央アルプスの間に広がる平野、伊那盆地。かつて稲作と養蚕が盛んでしたが、今は水田に野菜、リンゴや柿、飼料畑などが混在しています。ここで、飼料生産の共同利用を進める酪農家の取り組みを視察してきました。

共同作業で収穫

伊那市における農業生産額は、稲作が主ですが、畜産も盛んで、そのうち7割を酪農が占めています。乳牛の飼養戸数は80、一戸あたりの平均は33頭。フォルト組合は酪農家8名で組織され、高額な機械の購入や作業を共同で行なっています。

訪ねた時は、ちょうど飼料用トウモロコシ（デントコーン）の収穫時期でした。デントコーンは、牛の嗜好性や栄養価が高いことから、最近注目されている飼料です。収穫時期の作業は大変ですが、組合員総出でそれぞれの圃場の収穫を手伝い、作業の短縮が可能



飼料用トウモロコシ（デントコーン）

になりました。さらに裏作として、牧草を植え、収穫後大きなビニールでラップして、通年利用しています。

粗飼料自給は100%を実現

こうして2種類の牧草を栽培し発酵させることで、粗飼料の自給を実現できました。フォルト組合では、乳量や乳脂肪率を上げるための濃厚飼料はまだ輸入に頼っているものの、粗飼料をすべて自給することで、厳しい酪農の現状を乗り切ろうとしています。八丈島には肉牛肥育農家と酪農家が数軒ありますが、今後は粗飼料の自給を考え、自給を推進すべきであり、議会も具体策を打ち出して町を動かしていかなければなりません。

報告者 奥山幸子

本会議の質疑から

火葬場の駐車場



奥山博文議員

駐車場、道路拡幅のほかの残った土地をどう使うか。

町長 スポーツ公園の残土を利用してストロングハウスの建設など農地として活用することを考えている。

町営住宅の灯り



田村六郎議員

以前から話しているが、町営住宅の街灯や廊下は、夜中

まで明るい。神湊の漁業者の住宅は、特に明るすぎるように感じる。

国で進めているCO2削減や、環境に配慮したものを庁舎建設で検討しているなら、町営住宅も入居者が照明を付けたら消したりできるほうがいいのではないか。これから建設する住宅はぜひそういった配慮を。

副町長 安全上つけなくてはならないものがあるが、できるだけ最小限でやるよう考慮する。

ゴミ処理対策協議会

奥山幸子議員

町が設置するゴミ処理対策協議会委員の公募枠を広げ、ゴミに関心のある人を入れるよう検討できないか。

菊池睦男議員

やはり関心を持つている人を入れることが、町が取るべき姿勢ではないか。長期的な取組みとして会議を持つな

ら、公募枠を広げて力のある人を入れた方がいいと思う。

副町長 水海山の緑と水を守る会の方たちが提案してきたことで、住民がゴミ問題に興味を持った。これをきっかけに、八丈町のゴミ問題が良い方向へ発展させていかなければならない。今後見直しをしていく。

ヤスデの異常発生



山口英治議員

坂下でヤスデが異常発生している。住民に向け発生場所や対策の情報提供、道路、公共施設への対策は。それにかかる予算の増額はないのか。

住民課長 現在、永郷地域で特に被害がひどく、都道に関しては支庁の土木課が駆除剤の散布を実施している。また公共施設においては、随時、町の環境係の職員が駆除剤散布を行なっていて、町道についても町の建設課職員と一緒に

に実施していくことも考えている。

町営住宅の居住者名義変更

奥山博文議員

町営住宅の中に、居住者が部屋をまた貸ししていたり、実際に住んでいないという部屋があるので、調査などはしているか。

建設課主幹 そういう事件があると、速やかに調査し対処するようにしている。

最近の調査では、世帯主の死亡による名義変更や、退去なども行なっている。

ロベ輸出禁止

奥山博文議員

ロベが輸出できなくなり、輸出用のロベのネットハウス整備事業費の減額になった経緯を説明してほしい。

産業観光課長 今年、日本から輸入した盆栽や植木の中に、EU及びベルギーでは植物寄生性線虫がしばしば検出され、線虫が検出されなければ平成20年11月20日から平成21

年4月1日まで禁止する旨の文書が届いた。

八丈のロベから線虫は検出されていないが、輸出ができないため、都、JAと協議した結果、年度内に施設を整備することは見送ろうと考えているため、今回減額にした。

海上貨物運賃支援 品目の補助

菊池睦男議員

海上貨物運賃補助対象品目の中に、時代に合っていないものがある。例えば、牛、豚、木炭、球根などは、以前に比べ生産は激減している。

対象品目を見直し、生活物資としてガソリンの運賃を支援してもらおう要望をしてほしい。

企画財政課長 東京都に要望活動へ行くたび、生活物資として運賃が補助されているプロパンガスと同様にガソリンの海上運賃の補助をお願いしているが、生活物資に該当しないということで断られている経過がある。継続して要望はしていきたい。

バス事業の一部を 民間委託に

田村六郎議員

町財政が厳しい中、企業会計で町のサービスとして病院や水道はやめられないと思うが、バスは一部をタクシー協会に民間委託するなどして、縮小や廃止する考えはないか。

山口英治議員

路線廃止や人件費の削減などはやっているが、バス事業への補助金の減り、ますます厳しい状況とは思っている。しかし町民の足として必要と考える。

町長 町民の足という観点からも、大きなイベントや大型客船の入港などで一度に大勢の人を運ぶ機会があること

からも、経費を削減しながら細々と経営している。バスの必要性を感じるが、今後需要が伸びる可能性は低いと思う。議会とも話し合いを重ねていきたい。

えこ・あぐりまーと

奥山幸子議員

坂上地区の観光拠点で、自主運営で大変だとは思いますが、販売価格が高いと言われる。町が建物や散策路の整備など支援しているが効果が上

がっているのか、来場人数や売り上げなどの報告をしてほしい。

産業観光課長 喫茶店と直売所の合計で、昨年実績で2万人弱来場している。決算収支では、売り上げが約260万円、喫茶部が約160万円とあっており、いずれも数十万円を繰り越している状況である。

国保の短期証・資格者証

菊池睦男議員

保険証がないために病院にかかれないというケースが全国的に増えている。ど

のような基準で資格者証、短期証などを発行しているのか。

税務課長 前年度半分以上滞納して現年も納めていない人やそれ以上に滞納がある人に短期証を発行している。悪質な場合や呼び出しに応じない

短期証・資格者証とは

短期証とは…国民健康保険税を滞納すると、通常より有効期限が短く設定された保険証が交付されます。

資格者証とは…短期証交付から更に滞納額が増え納付相談等にも応じない場合には、資格者証が交付されます。医療機関で会

場合、納付相談にも来ないし納付もしない人の場合は資格者証を発行している。滞納者の把握などを見る上でも証明書を発行している。接触する機会を増やして、どうしても納められない特別な事情がある場合は、個別に対応していく。

計をするとき、国保の保険税の提示によって、かかった医療費の3割の負担で済むところ、資格者証ではその時点では保険が適用されませんので10割の支払いが求められます。(7割の返還については、申請により返還されます)

議会日誌

- 10月14日～16日
行政視察（長野県飯田市・伊那市）
- 10月16日
第60回全国漁港漁場大会
（奥山博文議員・山口英治議員）
東京都島嶼町村一部事務組合第2回臨時会（議長）
- 10月18日
第37回板橋区民まつり（議長）
- 10月24日
八丈町議会議員全員協議会
- 10月27日
東京都島嶼町村一部事務組合・東京都庁ほか要望活動（沖山宗春議長・伊勢崎和鶴右衛副議長・山下松邦議員・奥山博文議員・山口英治議員・長戸路義郎議員・土屋博議員・小澤一美議員）
- 10月29日
東京都島嶼町村議会議長会第1回臨時総会（議長）
北京市区・県人民代表大会友好代表团歓迎会（議長）
- 10月30日～11月1日
東京都町村議会議長会現地研修会（新島村）（議長）
- 11月6日
第19回東京都道路整備事業推進大会（山下松邦議員・奥山幸子議員）
- 11月11日～11月13日
行政視察（北海道網走市・弟子屈町）
- 11月18日
第27回離島振興市町村議会議長全国大会（議長）
- 11月19日
第52回町村議会議長全国大会（議長）
- 11月25日
東京都島嶼町村一部事務組合第3回臨時会（議長）
東京都議会訪問（議長）
- 11月27日
八丈町議会議員全員協議会
- 12月2日
議会運営委員会
- 12月10・11日
第四回八丈町議会定例会

八丈島空港での飛行機事故とハイジャック事件の発生を想定して2月5日、定期便の合間を利用して訓練が行われた。空港関係者をはじめ、消防本部、八丈島警察署など13機関の115人が参加。滑走路には消防車、救急車、パトカーがサイレンを鳴らして走り、上空からは警視庁のヘリも訓練を見守った。事故はあってはならないことだが、島民の安全を守るためにも、万全の備えを心がけたい。



3月の定例会では
 新年度予算案を審議します。
 皆さまの傍聴を
 お待ちしています。

編|集|後|記

第四回八丈町議会定例会が、12月10日、11日に開催され、一般会計、特別会計の決算認定について審議された。

八丈町の財政は健全に見えるが、詳細についてはまだまだ課題が残るところである。

八丈町の財政はさておき、今最も大変なのは百年に一度といわれる米国からの不況の波が日本に対して与えた影響である。

派遣切りや派遣村という、かつて聞いたことのない言葉がマスコミで飛び交っている。そのためか、国民は政府が支給しようとしている定額給付金にもあまり関心がないように見

える。

今現在、急速に下がりつつある内閣の支持率、2兆円ともいわれる定額給付金の一部を派遣村の人たちのために使ったのなら、多少上がるだろうに。

政治の世界は、一寸先は闇だと言われるが、今の世の中も一寸先は闇である。

日本地図をいくら探しても載っていない派遣村、もしもこの言葉がもっと早くマスコミに登場していたら、定額給付金についても真剣な議論がされたかもしれない。

(〇)